

小学校第6学年 家庭科学習指導案

日時：平成 年 月 日（ ） 限

指導者： T1 教諭

T2 栄養教諭（学校栄養職員）

場所：

1 題材名 楽しい食事をくふうしよう

2 題材の目標

- ・毎日の食事に関心を持ち、食事を作るときの視点に気づき、家族と楽しい食事をしようとする。【関心・意欲・態度】
- ・栄養的なバランスを考えて1食分の食事を工夫し、調理計画を立てることができる。【創意・工夫】
- ・調理計画に基づいて手順よく食事を整えることができる。【生活の技能】
- ・楽しく調和の良い食事のしかたがわかる。【知識・理解】

3 指導に当たって

(1) 教材観

この題材では、日常の食生活に必要な基礎的な知識と技能を身につけ、さらに家族の一員として楽しい食事を工夫しようとする実践的な態度を育てる。5年生家庭科で調理の基本とバランスの良い食事について、6年生前期で朝食の調理を学習している。この題材ではこれまでの学習を生かし、家族の1食分の食事を作るときの視点に気づかせ、それを考慮して調理計画を立て、実際に調理する。その過程での体験を通して、家族への思いやりの気持ちにつながる調理の工夫と、楽しく食事をする大切さを考えさせたい。

(2) 児童観

食生活実態調査（平成20年6月本事業調査）では、朝食は、約92%の児童が毎日食べていると回答しているが、主食+主菜+副食+汁物が揃った朝食を食べているのは、わずか12%程度であり、また、朝夕の食事を家族そろって食べていないなどの様子もみられる。給食時間では、給食を残すことが多いと回答している児童は、約13%いる。

(3) 指導観

児童の実態からこの学習を通して、自立した健康な食生活や豊かな家庭生活についても考えさせたい。より良い食事を考える過程では、食に関する専門的な立場から栄養教諭に T2 として入ってもらい、食事調査結果（平成20年6月本事業調査）と学校給食を教材として、栄養バランスのとり方と朝食1食分を考える実践的な学習を取り入れた。家族の1食分の調理計画では、気づいた多くの視点を活かしたものになるように導きたい。学習方法では、意識と技能に個人差があることを考慮して調理実習以外でもグループ学習を取り入れたい。

4 食育の視点

- ・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。【食事の重要性】
- ・心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理する能力を身に付ける。【心身の健康】

5 題材の指導・評価計画（総時数12時間）

	小題材名 指導項目	次 時	家庭生活への関 心・意欲・態度	生活を創意工夫す る能力	生活の技能	家庭生活につい ての知識・理解
楽 し い 食 事 を く ふ う し よ う	① 1食分の食事について考えよう ・食事について ・食事の計画 ・計画の見直し	一 五	○毎日の食事に関心をもち、食事を作る時の視点に気付く。 ○望ましい食生活を送ろうとしている。	○栄養的なバランスを考えて1食分の食事を工夫している。	○栄養的なバランスなどを考えて、1食分の計画を立てることができる。	○食事を作るとき視点が変わる。
	② 調理の計画を立てて作ろう ・調理実習計画 ・調理実習	二 六	○1食分の調理計画を立てて作ろうとしている。	○工夫して調理計画を立てている。	○1食分の調理計画を立てて調理することができる。	○材料や目的に合わせた調理のしかたなどを理解している。
	③ 家族と楽しく食事をしよう	三 一	○家族と楽しく食事をしようとしている。	○家族との楽しい食事をするための工夫を考えている。		

6 本時の学習（一次 第1時）

(1) 小題材名

1食分の食事について考えよう（1/12）

(2) 本時のねらい

1食分の食事を見直し、食事を作るときの視点に気づき、楽しい食事を自ら工夫しようとする。

(3) 評価規準

- ・毎日の食事に関心をもち、食事を作るうえでいくつもの視点があることに気づき、自ら工夫して望ましい食生活を考えようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・食事を作るときの視点が変わる。【知識・理解】

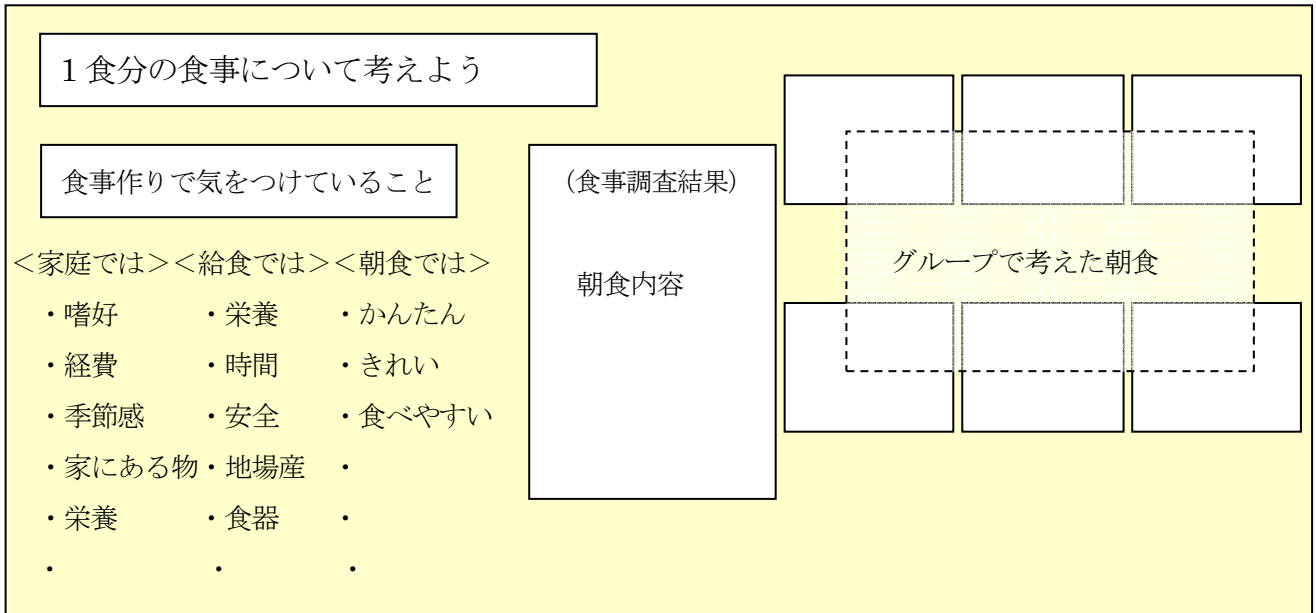
(4) 準備・資料

- ・食生活実態調査結果（平成20年6月本事業調査）
- ・朝食の役割図
- ・基礎食品群表
- ・料理カード（実物大そのまんま料理カード）と台紙
- ・ワークシート

(5) 本時の展開

時間	学習活動	○予想される児童の意識の流れ	●支援 ◇評価 ・留意点
5	<p>1 課題をつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返る。(朝の生活時間、栄養バランス、調理実習) この題材では食事計画をたて調理実習する。本時では食事作りの視点を考えることをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○この題材では1食分の食事計画を立て、それを実習することになるのだな。 ○1食分の食事を作るにはどんなことを考えればよいのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> T1 4年の保健、5年と6年前期の家庭科で学習したことを思い出させる。 T1 この題材では食事計画を立て実際に調理実習することを確認する。 T1 本時では1食分の食事について考えることをつかませる。
1食分の食事について考えよう			
15	<p>2 気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日の食事作りで家の人が気をつけていることを発表する。 食事作りには多くの視点があることに気づく。 朝食もバランスのとれた食事でなくてはいけないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家の人は多くのことを考えて食事を作ってくれているのだな。 ○学校給食ではその他に、安全、成長期の栄養、地域産物についても考えられているのだな。 ○朝食は主食だけとかの簡単な食事ではいけないのだ。 	<ul style="list-style-type: none"> T1●家庭の食事について気付かせる。 T2●学校給食もたくさんのことを考えて作っていることを気付かせる。 T2 食生活調査の朝食内容では1品～2品朝食が多かったことを考えさせる。 T2●充実した朝食が良いことを理解させる。
15	<p>3 グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで話し合い、食品カードを使って朝食献立を組み立てる。 考えた視点をまとめる。 他のグループの発表を聞き、いろいろな工夫や考えがあることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループの人たちにはそれぞれいろいろな意見や考えがあるのでおもしろいな。 ○おいしそうな朝食ができたぞ。 ○自分だけでは思いつかない視点がたくさんあるな。 	<ul style="list-style-type: none"> T1 朝食献立をグループで考える課題を出す。(食品カード・台紙) T1●各グループの朝食献立を黒板に掲示し順に考えた視点を発表させる。 T2●工夫されている点をコメントする。 T1 家族への思いやりという視点にも注目させる。
10	<p>4 まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の1食分の食事づくりで工夫する視点をワークシートにまとめる。 家族の食事を作るときの工夫のしかたがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の家族に食事をつくるときには・・・を工夫したいな。喜んでくれるかな。 ○みんな家族のためにいろいろなことを考えているな。 	<ul style="list-style-type: none"> T1 ワークシートにまとめさせる。 ◇食事を作るうえでいくつもの視点があることに気づき、自ら工夫して望ましい食生活を考えようとしている。【関心・意欲・態度】(活動とワークシート) T1●家族のための食事でも工夫したいことを発表させる。 ◇食事を作るときの視点がわかる。【知識・理解】(活動とワークシート)

7 板書計画



8 資料

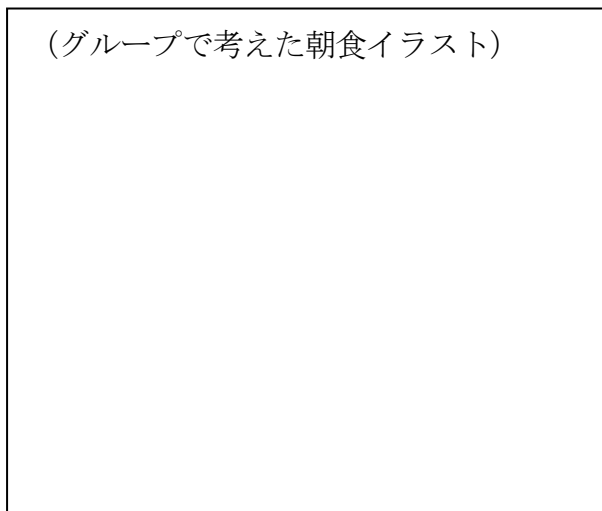
- ・食生活実態調査結果（平成20年6月本事業調査）
- ・朝食の役割図
- ・基礎食品群表
- ・食品カード（実物大そのまま料理カード第1集手軽な食事編：群羊社）と台紙
- ・ワークシート（別紙1）

★楽しい食事をくふうしよう★

名 前 _____

1 食分の食事のくふう

1. グループで考えよう、パワーアップ朝食

<p>(グループで考えた朝食イラスト)</p> 	<p>特にくふうしたこと</p> <ul style="list-style-type: none">●●●
--	--

2. 家族の 1 食分で取り入れたいくふう

できた食事を食べた家族から言われたいことば

くふうすること

- ★ _____
- ★ _____
- ★ _____
- ★ _____